発電システムの動力源となる回転体を提供します。

圧力水を利用する発電原理は水力発電技術と同様ですが、未利用と考えられる排水に焦点をあてた発電システムです。
排水及び移送水はエネルギーを保有する圧力水であり、この圧力水を有効利用する目途で回転体に水車ブレードを装備する回転体装置を提供します。

水車ブレードを有する回転体は、受容する圧力水を噴射ノズルにより更にパワーアップした圧力水として水車ブレードに水撃を与えます。

圧力水の噴射を受けた回転体は、連続回転を行い回転エネルギーとなるトルクを主軸に生成させます。

トルクと回転数を得た主軸は、発電に必要な諸条件を精査し、最適な増速倍率による増速機で発電機に連結され発電が行われます。

発電量は圧力水の圧力、流量、管径によって発電容量を計算する事となりますが、排出圧力水の出力(kw)の概ね 50%程度を予測しています。但し、確定数値ではなく理論計算上の予測であることをご了承ください。

雨水及び各処理施設等の最終放流水の末端に発電システムを設置し、回転体に噴射した後の排水は自然放流する事で放流水による発電を行うことが出来ます。
回転体部分の動力源装置はコンパクトで設置も簡便で移設等の対応も可能です。
又、各処理施設内の移送水についても夾雑物、固形物等の圧送阻害物の除去後であれば、有効な圧力水としてシステムに受容する事が可能となります。
更に、放流、移送のポンプ圧力水で無く、高層建築物の高所からの排水は水頭と流量により発電システムを介して発電が可能となります。

回転体の水車ブレードは管径、圧力、流量により最適なエネルギー受容が出来る設計で柔軟な対応が可能となっています。

昨今の世情から、工夫は新たな価値を生みます。是非、御検討を！！